

川辺町小学校再編計画説明会要旨（中央公民館）

【日 時】 令和4年11月29日（火） 19:00～20:45

【会 場】 川辺町中央公民館 1F 研修室（全域対象）

【次 第】

- ・町長あいさつ
- ・小学校再編計画のこれまでの経緯から計画案までを説明
- ・近隣での統合、特色ある学校の紹介
- ・質疑、意見、回答
- ・教育長あいさつ

【質疑・意見・回答】（実際の発言を簡略化して記載しています。）

Q ・（他の先進事例を見て）開かれた教室、広い学校は有効ですか。学校は遊園地とは違います。壁とかが有って初めて教室と言える。学校は先生が子どもに学力を付けさせる所です。

A ・学力を付けさせるために広い所は有効であるという手立てであり今の川辺の学校でこれを進めていきたいと言う訳では無く一つのアイデアです。

Q ・中津川の福岡小学校は体育館が3つ有ったが川辺は1つで大丈夫なんですか。

A ・足りないと思います。

Q ・グラウンドが1つ。これはどうですか。

A ・真ん中で区切り広さは確保できると思います。

Q ・中学校敷地に統合小学校を建てると中学校の建替えがいずれ来るので、先に既存小学校の何れかの校舎で統合し、中学校の建替え時期に小中一貫の校舎を建てたらどうか。

A ・中学校の建替え時期も見通しています。今後の課題としています。

Q ・跡地利用について町民の為に努力してくれる企業を誘致してはどうか。そうすれば町の支出を控え税収が増す。そのためには町の努力が必要である。

A ・跡地利用は必ず考えることとなります。意見として参考にします。

Q ・川辺町の場合3校を統合しなくても北小が東小か西小に入ればと考える。中学校敷地に統合小学校を建てると中学校のグラウンドが半分になるので工場を移転して、その後に小学校を統合してはどうか。

A ・小学校と中学校の連携をより深くするため中学校の近くで考えています。また学校がクラス替えが出来るよう2クラス以上として進めています。

Q ・小中一貫教育は大賛成ですが、統合までの間は何をするのか。来年からでも現行のまま小中一貫教育を行って頂きたい。学校建設の為では無く子どもの為に。

A ・小学校の教科担任制は出来る限りの人材の中で小学校の高学年を中心に実施しています。また小学校での指導実践を中学校に取り入れたり、中学校の指導実践を小学校に取り入れられるようにするため教科の交流はこれから先も行っていきます。

- Q ・ 子どもの教育が最重要ならば現状のままで小中一貫教育を始めてもらえませんか。統合学校を造る事よりも来年、再来年の子どもの教育が重要です。それをやりながら小中一貫学校統合の話を進めて行けばより良いものになっていくと思う。
- A ・ 目的である国際教育、プログラミング教育、ICT教育を着実に学校で進めている。教員の力もさらに付けていかなければならない。仰ることは良く分かりますが、それぞれの学校で同じようには行かないかも知れない。
-
- Q ・ 今の体制で各小学校に張り付いている先生で教科担任が出来るかどうか。中学校の先生の力を借りないと出来ないでしょう。
- A ・ 中学校の教科担任が小学校へ行く。そういう形を目指しながら、やがて1つになる為にも準備はしていかなければならない。ご指摘の部分は非常に良く分かるが極めて難しい問題ですので時間を掛けて行わなければならないと思っています。
-
- Q ・ 例えば北方の研究成果が発表されましたが何を苦勞したか、よく習ってきてください。
- A ・ 過去にも白川郷学園とかに先進統合された学校も見て来ています。来年度以降にカリキュラム部会や跡地利用部会など専門部会で練っていきたいと考ます。
-
- Q ・ 石神地区は学校が2つに分かれる。保護者も北小と西小の間で役員も分からなく困った。一貫教育を目指すのは賛成で1日も早く3校の内の何処かの校舎で統合小学校を進め出来る範囲で小中の交流を行うやり方も有るのではと思う。
- A ・ 地区が2分されるといふ不都合もあり、そういう事も意識しながら進めていきたいと思います。
-

【会場の様子】

